

市町村運営
有償運送の
制度緩和

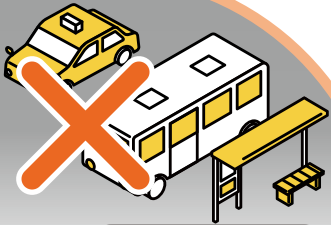
交通空白地で白ナンバーの 自家用車を活用して提供する旅客運送にお いて旅行者などの運送が可能になりました

Point!

- ✓ 市町村運営有償運送（交通空白）の利用者は地域住民に限定されていて、旅行者などの来訪者は利用できなかった。
- ✓ 公共交通機関が著しく不足していることなどの一定の条件^(※)の下で、旅行者などの運送が可能となった。

(※) 安全性や運行管理体制の確保や市町村が直接運営、地域の事業者・団体に委託する形で運営されること等

地域の課題



観光客を増やしたいが、移動手段がないため十分なサービスを提供できない。

自治体の提案

自家用有償運送の用途に
旅行者の輸送を追加

地域の交通空白の解消のため、自家用有償運送の規制緩和を提案してみよう！



提案の成果



観光客に対して、おもてなしサービスが提供できるようになった。



旅行者や来訪者を目的地まで輸送することができるようになった。



提案の成果

地域住民の生活支援、観光振興、地域定住促進などの地域サービス向上につながっている。

地域サービスの向上

提案実現後の状況

今後の活用への期待

●愛知県知多郡南知多町（日間賀島）

日間賀島は、知多半島の南端から約3km東に位置する三河湾の離島。全域が「三河湾国定公園」に指定されており、タコやフグなど漁業も盛んな島で、近年は海外からの観光客が増加している。

島内には定期路線バスが存在せず、観光客の移動手段が限られていた。

これを解消するために、日間賀島観光協会が運営主体となって、観光シーズンに合わせ、島内を循環する「ぐるりーバス」が運行されている。

車両は、地域の旅館などで構成される観光協会が保有するバスを活用。年間およそ11,000人が利用し、7月～8月の観光シーズンには島内の宿泊施設からビーチなどへの輸送を行っている。



▲タコのモニュメントで来訪者を歓迎



▲島内を循環する「ぐるりーバス」

●兵庫県養父市

兵庫県養父市は、平成16年4月に4町が合併し誕生した、兵庫県北部(但馬地方)に位置する市。市内にはタクシー事業者が3社営業しているが、いずれも山間部への運行がなく、地域住民や来訪者の移動手段の確保が急務だった。そのため、養父市マイカー運送ネットワークが運営主体となって、平成30年から「やぶくる」の運用開始。明延鉱山、天滝溪谷、ハチ高原など観光資源が豊富であることを活かし、観光客の利用促進にも力を注ぐ。全国の交通空白地帯へのモデルケースとして注目されている。



▲養父市マイカー運送ネットワークの有償運送車両「やぶくる」

<提案団体> 愛知県

関係者の声



理事長

今後は、市内外を問わず養父市の地域貢献に意欲のある方を募集し、自家用有償ドライバーとして登録して頂くことで、より多くの市民及び観光客の移動手段の充実を図っていきたいと考えております。



利用者

日帰りにて来島の為、東西への移動手段が楽にできました。



利用者

夏の暑い時間帯にエアコンの効いた車内での移動がうれしかったです。



利用者

1乗車の料金がお値打ちと思いました。2歳から小学生：100円・中学生以上：200円